

持続的生産強化対策事業のうち養蜂等振興強化推進(在来種マルハナバチの利用拡大支援事業)に関する事業評価票

都道府県名	市町村名	事業実施主体名	対象作物・畜種名	事業実施初年度	成果目標の具体的な内容		成果目標の達成状況			評価機関名	九州農政局
					マルハナバチを利用する園芸農家に占める在来種マルハナバチを利用する農家数の割合	増加割合	基準年年度	目標年年度	達成率	具体的な取組内容	農林水産省生産局、政策統括官、地方農政局(北海道農政事務所、内閣府沖縄総合事務局)の評価所見
熊本県	球磨郡	球磨地域農協苺部会	いちご	R元年度	34%	20%	14%	21%	35% 未達成	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催 日々の巡回指導や定期的な講習会などを通じマルハナバチ導入の指導及び推進を行った。令和6年度においては、これまでマルハナバチを導入してこなかった生産者を中心に、低温期のミツバチの活動を鈍くする対策として積極的な利用を指導。 	<p>当初目標年度の令和4年度はマルハナバチの導入生産者数が大幅減となり、利用率が6%で目標未達成となり、令和6年度を目標とする改善計画を作成。令和6年度のマルハナバチの利用率は21%であり、多少改善しているが目標未達に終わる。</p> <p>巡回指導や講習会等でマルハナバチ利用拡大に向けて指導を継続しており、令和6年度においては、これまでマルハナバチを導入してこなかった生産者を中心に、低温期のミツバチの活動が鈍くなる対策として積極的な利用の指導を行ったが、近年の物価高騰によりあらたな資材(逃避防止ネット等)を購入することや、マルハナバチによる食害の懸念などもあり、導入に対して消極的になっている生産者がみられ目標達成には至らなかった。</p> <p>目標未達成であることから、達成に向けた改善計画の提出を求める。</p>
熊本県	八代市	八代在来種マルハナバチ利用拡大協議会	トマト	R3年度	40%	40%	0%	100%	250% 達成	<ul style="list-style-type: none"> ・検討会の開催 学識経験者、県・市の行政機関、養蜂家・園芸農家代表で組織する事業実施検討委員会を開催し、八代トマト流通センター出荷組合における在来種クロマルハナバチの利用拡大をさらに図るための方針を決定。 ・利用技術の実証展示 方針に従い、八代トマト流通センター出荷組合のトマト生産農家の実証圃に在来種クロマルハナバチを導入し、在来種クロマルハナバチがセイヨウオオマルハナバチに能力が劣らないことや扱い易いことを実証展示。 ・マニュアルの作成、在来種マルハナバチの利用拡大 トマト生産農家向け「クロマルハナバチの使い方2022」(管理マニュアル)を作成し、これらを実施することにより、八代トマト流通センター出荷組合における在来種クロマルハナバチの利用拡大を図る。 	<p>目標を達成しており、計画どおりの成果があった。</p>